

体育 評価規準【6年】

単元名		体づくり運動 体ほぐしの運動
単元の目標		●自分の体の状態に気付いたり、仲間と関わったりするためのいろいろな運動を楽しんで行うことができる。 ●気づき-関わり-のねらいがあることを知り、ねらいに応じた運動を楽しんで行うことができる。 ●互いに助け合い、場や用具の安全に気を付け、進んで運動することができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・運動	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。
	思考・判断・表現	・心と体の関係を理解し、友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいる。 ・様々な運動を行って比較することで、気づきや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいる。 ・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したことなどを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。
	主体的に学習に取り組む態度	・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気づきや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。

単元名		体づくり運動 体の動きを高める運動
単元の目標		●体力を高める運動の必要性や運動の行い方を理解し、めあてをもって自己の体力に応じた運動に取り組み、体力を高めることができる。 ●体力を高める運動のねらいや行い方を知り、自己の体力に応じて工夫して運動を行うことができる。 ●約束を守り、場や用具の安全に配慮しながら、友達と助け合って運動することができる。

単元の 観点別 評価規準	知識・運動	・体の動きを高める運動の行い方がわかる。 (ア)体の柔らかさを高めるための運動 体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (イ)巧みな動きを高めるための運動 人や物の動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (ウ)力強い動きを高めるための運動 自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (エ)動きを持続する能力を高めるための運動 一つの運動又は複数の運動を組み合わせで一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。
	思考・判断・表現	1. 新体力テストなどを活用して、自分の体力から課題を知り、課題を意識して運動している。 2. 動きのポイントを見つけるために、友達の動きを観察したり、運動のしかたを工夫したりしている。 3. 自分の課題を達成するために、動きのポイントを運動に生かしたり、運動のしかたを工夫したりしている。 4. 学習を振り返り、課題の達成度などを話し合ったり、学習カードに記入したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見付けている。 ・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいる。 ・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫している。 ・グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。 ・感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。

単元名		器械運動 マット運動
単元の目標		●基本的な回転技や倒立技に取り組み、それぞれについて自分の力に合った技が安定してできるとともに、その発展技ができる。 ●今できる技を組み合わせたり、友達と合わせたりすることができる。 ●自分のめあてをもって、学習資料を活用し、技を身に付けるための練習のしかたを工夫しながら運動することができる。 ●互いに励まし合って、協力して運動したり、器械・器具の使い方を工夫して、安全に運動したりすることができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 ・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせで演技をつくったりできる。 ○開脚前転（更なる発展技：易しい場での伸膝前転） ○補助倒立前転（更なる発展技：倒立前転、跳び前転） ○伸膝後転（更なる発展技：後転倒立） ○倒立ブリッジ（更なる発展技：前方倒立回転） ○ロンダート ○補助倒立（更なる発展技：倒立）
	思考・判断・表現	・マット運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやＩＣＴ機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	・マット運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

単元名		器械運動 鉄棒運動
単元の目標		●基本的な上がり技や支持回転技、下り技に取り組み、それぞれについて自分の力に合った技が安定してできるとともに、その発展技ができる。 ●できるようになった技を繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ●自分の力に合っためあてをもち、練習のしかたを工夫することができる。 ●約束を守り、友達と助け合って、安全に運動することができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転（更なる発展技：前方伸膝支持回転） ○片足踏み越し下り（更なる発展技：横とび越し下り） ○膝掛け上がり（更なる発展技：もも掛け上がり） ○前方もも掛け回転 ○逆上がり ○後方支持回転（更なる発展技：後方伸膝支持回転） ○後方もも掛け回転
	思考・判断・表現	・鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやＩＣＴ機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	・鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

単元名		器械運動 跳び箱運動
単元の目標		●基本的な支持跳び越し技が安定してできるとともに、その発展技ができる。 ●今できる技を生かして、友達とリズムを合わせて跳んだり、連続して調子よく跳んだりすることができる。 ●自分のめあてに応じた練習の場や段階を選び、工夫して練習することができる。 ●跳び箱運動に進んで取り組み、約束を守り助け合って運動したり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ○かかえ込み跳び（更なる発展技：屈身跳び） ○伸膝台上前転 ○頭はね跳び（更なる発展技：前方屈腕倒立回転跳び）
	思考・判断・表現	・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやＩＣＴ機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

単元名		陸上運動 短きより走・リレー
単元の目標		●走る距離やバトンパスなどのルールを定めて競走したり、自分(チーム)の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、一定の距離を全力で走ることができる。 ●自分やチームの記録を高めるために、課題解決のしかたを知り、競走や記録への挑戦のしかたを工夫することができる。 ●運動に進んで取り組み、約束を守り、助け合って運動したり、安全に練習や競走をしたりすることができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	・短距離走やリレーの行い方がわかる。 ・スタンディングスタートから、素早く走り始めることができる。 ・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。
	思考・判断・表現	・短距離走・リレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・短距離走・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	・短距離走・リレーに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。

単元名		陸上運動 ハードル走
単元の目標		●インターバルの距離やハードルの台数などのルールを定めて競走したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の到達を目指したりしながら、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。 ●目標となる記録達成のための課題を決め、その解決のしかたを選んだり工夫したりして計画的に練習や競走をすることができる。 ●運動に進んで取り組み、約束を守り助け合って運動したり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。

単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. インターバルを3～5歩のリズムで、リズムカルに走り越すことができる。 2. 技能ポイントを知り、ハードルをリズムカルに走り越すことができる。 3. 自分に合ったインターバルの距離を知り、3～5歩でリズムカルに走り越すことができる。 4. 技能ポイントを生かして、記録を高めることができる。
	思考・判断・表現	1. 学習の進め方を理解し、計画的に取り組んでいる。 2. 自分に合った目標記録を設定している。 3. 自分に合ったインターバルを見つけ、練習の方法を選んだり、工夫したりしている。 4. 学習資料を活用して、自分や友達のよさを見つけている。
	主体的に学習に取り組む態度	1. 走路や器具の使い方など、安全に気を付け運動しようとする。 2. 役割を分担し、協力して、楽しく運動しようとする。 3. 記録を向上させるために繰り返し運動しようとする。 4. 友達にアドバイスや励ましの声をかけようとする。

単元名		陸上運動 走りはばとび
単元の目標		●リズムカルな助走から踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。 ●より遠くへ跳ぶために、進んで運動に取り組むことができる。 ●より遠くへ跳ぶための練習のしかたや競争のしかたを工夫することができる。 ●約束を守り友達と助け合って運動したり、安全に気を付けて運動したりすることができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. リズムカルな助走から踏み切ることができる。 2. 膝を柔らかく曲げて、両足で着地できる。 3. 自分に合った助走距離を見つけ、踏み切りゾーンに合わせて踏み切ることができる。 4. 両手、両足を前方に出し、かがみ込むように着地することができる。
	思考・判断・表現	1. 自分の力や技能ポイントを理解し、自分に合った目標記録を立てている。 2. 自分の力に合った課題を設定し、それに合った練習の場や段階を選んで練習している。 3. 友達と運動を見合い、技能ポイントを確かめながら練習に取り組んでいる。 4. 自分の力に合った競争のルールや記録への挑戦のしかたを選んでいく。

	主体的に学習に取り組む態度	1. より遠くへ跳ぶことを目指して進んで運動に取り組もうとする。 2. 用具の準備や後片づけ、計測、記録など、分担された役割を果たしたり、場の安全を確かめたりしようとする。 3. 自分に合った助走距離を見つけ、踏み切りゾーンに合わせて踏み切ることができる。 4. 両手、両足を前方に出し、かがみ込むように着地することができる。
--	---------------	---

単元名		陸上運動 走り高とび
単元の目標		●リズムカルな助走から踏み切り、高く跳ぶことができる。 ●より高く跳ぶために、進んで運動に取り組むことができる。 ●より遠くへ跳ぶための練習のしかたや競争のしかたを工夫することができる。 ●約束を守り友達と助け合って運動したり、安全に気を付けて運動することができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	・走り高跳びの行い方がわかる。 ・5～7歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・上体を起こして力強く踏み切ることができる。 ・はさみ跳びで、足から着地することができる。
	思考・判断・表現	・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	・走り高跳びに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り高跳びの場の危険物を取り除いたり、整備したりするとともに、用具の安全に気を配っている。

単元名	水泳	
単元の目標	●運動の楽しさや喜びに触れ、クロールや平泳ぎの技能を身に付け、続けて長く泳ぐことができる。 ●自己の能力に適した課題の解決のしかたや記録への挑戦のしかたを工夫することができる。 ●運動に進んで取り組み、助け合って水泳をしたり、水泳の心得を守って安全に気を配ったりすることができる。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	【クロール】 ・クロールの行い方がわかる。 ・手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ、水を大きくかくことができる。 ・柔らかく足を交互に曲げたり伸ばしたりして、リズムカルなばた足をすることができる。 ・肩のローリングを用い、体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。 ・左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐことができる。 【平泳ぎ】 ・平泳ぎの行い方がわかる。 ・両手を前方に伸ばし、ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかくことができる。 ・足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を挟み出すとともに、キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。 ・手の動きに合わせて呼吸することができる。 ・キックをした勢いを利用してしばらく伸び、続けて長く泳ぐことができる。 【安全確保につながる運動】 ・安全確保につながる運動の行い方がわかる。 ・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。 ・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で、仲間に背中を押して沈めてもらい、息を止めてじっとして水面に浮上する浮き沈みを続けることができる。 ・タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができる。 ・息を一度に吐き出し呼吸することができる。

	思考・判断・表現	・学習カードや掲示物などを活用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。 ・クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。 ・自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見付けたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。 ・友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	・水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。 ウ 水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確認してから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。

単元名		ボール運動 バスケットボール
単元の目標		●簡易化されたゲームで、パスやシュートなどのボール操作やボールを受けるための動きによって、攻めたり守ったりすることができる。 ●ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができる。 ●運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合ったり、場や用具の安全に気を配ったりして練習やゲームができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. 近くにいるフリーの味方にパスを出したり、ボールを受けることのできる場所に動いてパスを受けたりして、ゲームをすることができる。 2. 得点しやすい場所に動いて、パスを受けてシュートすることができる。 3. 相手にとられない位置でドリブルすることができる。 4. ボールを保持する人とゴールの間に体を入れて守ることができる。 5. チームの作戦に基づいた位置どりや、パスやシュートによって得点することができる。

	思考・判断・表現	1. 楽しいゲームの行い方やルールを理解している。 2. 自分のチームの特徴に応じた攻め方を理解している。 3. プレー上の制限や得点のしかたなど、自分たちに合ったルールを選んでいる。 4. 自分のチームの特徴に応じた作戦を立てている。
	主体的に学習に取り組む態度	1. ルールやマナーを守って、安全にゲームをしようとする。 2. 進んで練習やゲームに取り組もうとする。 3. 用具の準備や片づけなど、分担した役割を果たそうとする。 4. 励ましの声をかけ合うなど、友達と助け合って練習やゲームをしようとする。 5. 場や用具の安全に気を配って練習やゲームをしようとする。

単元名		ボール運動 サッカー
単元の目標		●簡易化されたゲームで、パス、ドリブル、シュートなどのボール操作やボールを受けるための動きによって攻めたり、守ったりすることができる。 ●ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができる。 ●運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合ったり、場や用具の安全に気を配ったりして練習やゲームができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. 近くにいるフリーの味方にパスを出したり、ボールを受けることのできる場所に動いてパスを受けたりして、ゲームをすることができる。 2. 得点しやすい場所に動いて、パスを受けてシュートすることができる。 3. ボールを受けることのできる場所に動いて、パスを受けることができる。 4. ボールを保持する人とゴールの間に体を入れて守ることができる。 5. チームの作戦を生かした位置どりや、パスやドリブル、シュートによって、得点につなげることができる。
	思考・判断・表現	1. 楽しいゲームの行い方やルールを理解している。 2. 自分のチームの特徴に応じた攻め方を理解している。 3. プレー上の制限や得点のしかたなど、自分たちに合ったルールを選んでいる。 4. 自分のチームの特徴に応じた作戦を立てている。
	主体的に学習に取り組む態度	1. ルールやマナーを守って安全にゲームをしようとする。 2. 進んで練習やゲームに取り組もうとする。 3. 用具の準備や片づけなど、分担した役割を果たそうとする。 4. 励ましの声をかけ合うなど、友達と助け合って練習やゲームをしようとする。 5. 場や用具の安全に気を配って練習やゲームをしようとする。

単元名		ボール運動 ハンドボール
単元の目標		●簡易化されたゲームで、パスやシュートなどのボール操作やボールを受けるための動きによって、攻めたり守ったりすることができる。 ●ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができる。 ●運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合ったり、場や用具の安全に気を配ったりして練習やゲームができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. 近くにいるフリーの味方にパスを出したり、ボールを受けることのできる場所に動いてパスを受けたりして、ゲームをすることができる。 2. 得点しやすい場所に動いて、パスを受けてシュートすることができる。 3. 相手にとられない位置でドリブルすることができる。 4. ボールを保持する人と自分の間に守備者を入れないように立つことができる。 5. チームの作戦に基づいた位置どりや、パスやシュートによって得点することができる。
	思考・判断・表現	1. 楽しいゲームの行い方やルールを理解している。 2. 自分のチームの特徴に応じた攻め方を理解している。 3. プレー上の制限や得点のしかたなど、自分たちに合ったルールを選んでいる。 4. 自分たちのチームの特徴に応じた作戦を立てている。
	主体的に学習に取り組む態度	1. ルールやマナーを守って、安全にゲームをしようとする。 2. 進んで練習やゲームに取り組もうとする。 3. 用具の準備や片づけなど、分担した役割を果たそうとする。 4. 励ましの声をかけ合うなど、友達と助け合って練習やゲームをしようとする。 5. 場や用具の安全に気を配って練習やゲームをしようとする。

単元名		ボール運動 フラッグフットボール
単元の目標		●簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻めたり守ったりすることができる。 ●ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができる。 ●運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合ったり、場や用具の安全に気を配ったりして練習やゲームができる。

単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. 相手のフラッグを取ることができる。 2. フラッグを取られないように相手をかかわして走ることができる。 3. 近くにいるフリーの味方にパスを出したり、ボールを受けることのできる場所に動いてパスを受けたりして、ゲームをすることができる。 4. ボールを保持する人とエンドゾーンの間に体を入れて守ることができる。 5. チームの作戦を生かした位置どりや、ランプレーやパスプレーによって、得点につなげることができる。
	思考・判断・表現	1. 楽しいゲームの行い方やルールを理解している。 2. 自分のチームの特徴に応じた攻め方を理解している。 3. プレー上の制限や得点のしかたなど、自分たちに合ったルールを選んでいる。 4. 自分のチームの特徴に応じた作戦を立てている。
	主体的に学習に取り組む態度	1. ルールやマナーを守って安全にゲームをしようとする。 2. 進んで練習やゲームに取り組もうとする。 3. 用具の準備や片づけなど、分担した役割を果たそうとする。 4. 励ましの声をかけ合うなど、友達と助け合って練習やゲームをしようとする。 5. 場や用具の安全に気を配って練習やゲームをしようとする。

単元名	ボール運動 ソフトバレーボール	
単元の目標	●簡易化されたゲームで、チームの連係による攻撃や守備によって、攻めたり守ったりすることができる。 ●ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができる。 ●運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合ったり、場や用具の安全に気を配ったりして練習やゲームができる。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. ボールを片手や両手で操作し、ネットを挟んだ簡単なルールのゲームができる。 2. ボールを操作して、相手が取りにくいようなボールを打ち返すことができる。 3. チームの連係プレーによる攻撃を使ってゲームができる。
	思考・判断・表現	1. 楽しいゲームの行い方やルールを理解している。 2. 自分のチームの特徴に応じた攻め方を理解している。 3. プレー上の制限や得点のしかたなど、自分たちに合ったルールを選んでいる。 4. 自分のチームの特徴に応じた作戦を立てている。

	主体的に学習に取り組む態度	1. ルールやマナーを守って、安全にゲームをしようとする。 2. 進んで練習やゲームに取り組もうとする。 3. 用具の準備や片づけなど、分担した役割を果たそうとする。 4. 励ましの声をかけ合うなど、友達と助け合って練習やゲームをしようとする。 5. 場や用具の安全に気を配って練習やゲームをしようとする。
--	---------------	---

単元名		ボール運動 ソフトボール
単元の目標		●ボールを打ったり、走塁したりして攻撃したり、それを阻止するために、捕球したり、送球したりして守備をする動きができる。 ●ルールを工夫したり、チームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができる。 ●運動に進んで取り組み、ルールを守り、助け合ったり、場や用具の安全に気を配ったりして練習やゲームができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. 止まったボールや易しく投げられたボールを打ったり、走塁したりして攻撃できる。 2. 相手の攻撃を阻止するために捕球したり送球したりして、攻守を交替するゲームができる。 3. 得点をとるための出塁と進塁ができる。 4. チームとして守備の隊形をとってアウトにする（進塁を防ぎ、得点を与えないようにする）動きができる。
	思考・判断・表現	1. 楽しいゲームの行い方やルールを理解している。 2. 自分のチームの特徴に応じた攻め方を理解している。 3. プレー上の制限や得点のしかたなど、自分たちに合ったルールを選んでいる。 4. 自分のチームの特徴に応じた作戦を立てている。
	主体的に学習に取り組む態度	1. ルールやマナーを守って、安全にゲームをしようとする 2. 進んで練習やゲームに取り組もうとする。 3. 用具の準備や片づけなど、分担した役割を果たそうとする。 4. 励ましの声をかけ合うなど、友達と助け合って練習やゲームをしようとする。 5. 場や用具の安全に気を配って練習やゲームをしようとする。

単元名		表現運動
単元の目標		●いろいろな題材から表したいもののイメージや特徴をとらえ、即興的な表現や変化のある簡単なひとまとまりの動きで表すことができる。 ●題材からテーマを決めて、動きに変化をつけたひとまとまりの動きを工夫したり、簡単な作品にしたりすることができる。 ●グループの課題解決に向けて、練習や発表のしかたを工夫することができる。 ●互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. 新聞紙を使って、いろいろな動きを経験し、題材の特徴をとらえた動きで大きく動くことができる。 2. 「とび出す」動きからイメージを膨らませ、「はじめーなかーおわり」の変化をつけて動くことができる。 3. いろいろな天気イメージを膨らませ動きにし、生活や自然現象から見つけた題材の特徴をとらえて「はじめーなかーおわり」の変化をつけて動くことができる。 4. 「わたしたちの地球」から題材を選び動きを工夫し、場面を組み合わせで簡単な作品をつくることができる。
	思考・判断・表現	1. めあてに向かって、動きながらイメージを広げ、変化のある動きを見つけている。 2. 4つの工夫を知り、「はじめーなかーおわり」のひとまとまりの動きにしている。 3. 4つの工夫を取り入れて、グループや自分の動きをよりよくしようと工夫している。 4. 自分たちやほかのグループのよさを生かして練習したり発表のしかたを工夫したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	1. 進んで取り組み、楽しく踊ろうとする。 2. だれとでも仲よく組んで動いたり、友達のよいところを見つけ認め合おうとする。 3. 互いに協力して練習や発表をしようとする。 4. 安全に気を付けて学習しようとする。

単元名		フォークダンス
単元の目標		●踊りの特徴をとらえ、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。 ●基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。 ●曲の特徴を生かした動きになるように、踊り方やかけ声を工夫することができる。 ●互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1. 踊り方を覚え、音楽に合わせて踊ることができる。 2. 踊りの特徴をとらえ、友達と気持ちを合わせて楽しく踊ることができる。
	思考・判断・表現	1. 民踊やフォークダンスの由来を知り、踊りの特徴をとらえている。 2. 踊り方を教え合ったりかけ声や小道具を工夫したりして練習や発表をしている。
	主体的に学習に取り組む態度	1. だれにでも心を開き、気持ちを合わせて楽しく踊ろうとする。 2. 友達のよいところを見つけ、認め合おうとする。 3. 互いに協力して自主的に練習しようとする。 4. 安全に気を付けて運動しようとする。